

3月定例会

質疑・一般質問

3月8日、9日の本会議では、質疑5名、一般質問8名の議員が議案や市政全般にわたり活発な質問を行いました。(発言順に掲載)

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム（5月下旬掲載予定）にてご覧いただけます。



議案第24号 平成28年度加西市病院事業会計補正予算（第1号）について

質疑



長田 謙一 議員
(21 政会)

問 平成28年度加西病院の現状と医師の確保について、病院事業管理者にお尋ねしたい。

答 経営の現状は厳しいものとなっています。一番の要因は、医師の減少で患者数が減少したということです。2年間で、消化器内科で4名、神経内科で2名、整形外科、精神科で各1名の計8名が退職し、循環器内科で1名が移行し、差し引き7名の減員となっています。医師の減少により救急医療の制限や医師1人当たりの内科入院患者数があまりにも多

くなりすぎる場合には少し制限を行ったことで患者数の減少を起しています。また、内科以外の診療科にも影響があり、外来患者も入院患者も27年度より減少しています。

経営に関係する診療単価でも、単価の高い循環器内科や外科の患者が減少し、心臓カテーテル等の手術件数も減少し、今年度見込みの入院診療単価は4万5,300円となっています。外来診療単価とともに27年度と比較して減少しています。

医師の確保については、多くのドクターを神戸大学からの派遣に頼っていますが、周辺にできた統合病院に神戸大学からの医師の派遣が流れている現状があります。様々な手段を使い神戸大学の各診療科の教授や大学の幹部教授の方々に再三面談にあがっています

が、医師の採用には至っていません。

問 経営支援3億円の原因は何か。

答 最大の原因は、医師の減員による患者数の減少により大幅に収益が低下したという状況になったことに尽きます。加えて、患者が減少した割には診療に係る材料費等があまり下がっていないという状況です。このようなことで、流動資産から流動負債を引くとマイナス2億7,000万円余りとなり、不良債務が発生するという状況になることから、一定の留保資金を確保したいため経営支援をお願いするものです。

■その他の質問項目

・議案第9号 加西市障害者福祉年金条例の制定について